

# 特報

## 今冬の豪雪による被害状況



陸上自衛隊 提供

孤立した長野県秋山郷（1月11日撮影）

昨年12月から降り続いた雪は日本海側の多くの地域で深刻な被害をもたらした。平成18年3月31日17時30分の総務省消防庁の発表では今冬の豪雪の為に死者149人（屋根の雪下ろし等、除雪作業中110人・落雪などによる20人・その他、心疾患・脳疾患や除雪車に轢かれるなど）、重軽傷2109人を記録した。死者の約70%以上が60歳以上であり、地域の過疎化の影響が伺える。各地で自衛隊に対して災害派遣の要請がなされ、陸上自衛隊により命がけの除雪作業が行われた。



陸上自衛隊 提供



陸上自衛隊 提供

積雪は降雪が進むと $1\text{ m}^3=400\text{ kg}$ 以上になることもあり、非常に重く硬くなる。そして、1m以上の積雪、若しくは30cm以上の降雪があると雪崩の危険性も高まる。気温が低く、積雪の上に多量の降雪が短期間であった場合は表層雪崩の発生する可能性がある。表層雪崩は時速100～200kmにもなる。また、気温が上昇し、斜面にヒビやコブが出来ていると全層雪崩の可能性がある。全層雪崩は時速40～80km。どちらも勾配が30～45度の間が最も発生する危険性が高い。さらに、融雪が進めば、融雪水害が発生する可能性もある。

農林水産省が行った、今冬の豪雪による主要生鮮食品 11 品目（キャベツ・ねぎ・レタス・玉ねぎ・きゅうり・トマト・ほうれんそう・白菜・大根・マグロ・あじ）の小売価格についての緊急調査では、1月中旬と2月中旬の野菜価格（円/kg）を比べると、1月中旬が5割程度2月中旬より高くなっている。白菜と玉ねぎの価格は概ね安定していた。

写真提供：陸上自衛隊

参考資料：北陸地方整備局・新潟県土木部砂防課『雪崩に気をつけましょう！』

総務省消防庁『今冬（平成 17 年 12 月以降）の雪による被害状況（第 58 報）』  
『死者の概要』

農林水産省『平成 17 年 12 月初旬からの降雪等による農林水産被害と対応に  
ついて』

『生鮮野菜及び生鮮魚介小売価格の調査結果』